

講演 私を育てた青森の自然

18歳で青森県を離れ、東京で暮らしているが、年を重ねるほど、青森の素晴らしさを強く感じる。風土、自然、食べ物、人々の気風。いろんなものに支えられ、今の私がある。私の生まれは鮎ヶ沢町。日本海の幸はもろろん、実家の裏の川でとれるサケ、シロウオ、近くの山のアケビや山菜などを食べた。子どものころは、私もハンバーグ、スパゲティ、コロッケを食べた。でも、食卓は毎日、煮魚や焼き魚。みそ汁は煮干しを砕いた粉でだ

じよっぱり、土俵で開花

大相撲解説者、スポーツキャスター 舞の海 秀平さん



どん成長するのには私は小さいままで、勝てなかった。2年生の時、意欲をなくして先生に「もうやめよ」と伝えるところが先生がやめさせ

てくれない。放課後、帰るとする私を校門で待ち構え、強引に稽古場に連れ戻した。私も根負けして、退部を断念した。先生の指導は厳しかったが、週末には私たちが部員に出前のラーメンやカツ丼をこちそうしてくれ、やる気を引き出した。そして私たちは3年生の時、念願かなって全国大会出場を果たした。その後生は亡くなった。墓石には自然にかえるだけ彫ってある。好きなように生きた先生らしい言葉。先生は、体の小さい私を見放さず、相撲の世界に引き戻してくださった。大相撲での9年半の現役生活で思い出すのは、体重300kgの小錦さんが私の上に倒れ込んで、左足の靭帯(じんたい)を切ったこと。けがが治って幕内に戻り、再び小錦さんと対戦するとき、再び正直、怖かった。立ち会いで変化したら、勢いのついた小錦さんが土俵を割った。私の勝負星になった。

青森で社会貢献フォーラム

主催 全日本社会貢献団体機構 東奥日報社 全国地方新聞社連合会

安らぎ求めつなぐ心

人間社会に豊かな恵みをもたらす大自然は、一方で地震や津波、豪雪など大災害を引き起こす脅威にもなる。東奥日報社は「自然と生きる」自然を活動かすをテーマに、社会貢献フォーラム(全日本社会

自然と生きる・自然を活かす・みんなてつくる地域のかく

社会の成熟度に着目 鳥越

長期覚悟で復興支援 大西

夢が「次の夢」を生む 近藤

村松 現代社会では、人と、社会には「成長期」と人との温かいつながりが「成熟期」がある。例えは求められている。自然を生かしながら、どんな社会員か活動すれば良いか。江戸時代の前半が成長期、後半が成熟期、経済も発展した。江戸時代後半は成熟期で、人口は減少したが文化が豊かになった。や学問が豊かになった。その後も、明治から平成に入る辺りまでは成長期で、より大きなもの、より強いの、より合理的なもの、心のあるものが求められるのが評価された。「とにかく



早稲田大学教授 鳥越 皓之さん



東奥日報社報道部次長 近藤 弘樹



コーディネーター アナウンサー エッセイスト 村松 真貴子さん

岩を砕いて砂にし、みんな

出た。そして私たちは3年生の時、念願かなって全国大会出場を果たした。その後生は亡くなった。墓石には自然にかえるだけ彫ってある。好きなように生きた先生らしい言葉。先生は、体の小さい私を見放さず、相撲の世界に引き戻してくださった。大相撲での9年半の現役生活で思い出すのは、体重300kgの小錦さんが私の上に倒れ込んで、左足の靭帯(じんたい)を切ったこと。けがが治って幕内に戻り、再び小錦さんと対戦するとき、再び正直、怖かった。立ち会いで変化したら、勢いのついた小錦さんが土俵を割った。私の勝負星になった。

目の輝き、幸せ映す 舞の海 努力が地域の魅力に 村松

舞の海 テレビ番組のリーダーとして、若手県や宮城県などの被災地を訪れた。避難所によっては、家族と一緒に周りを仕切る柵を設置しているが、柵がない避難所の方が、話が弾み、活気があるように思う。何が幸せかを考えると、14年前にプータンで、子どもたちに相撲を教えた時のことを思い出す。ヒマラヤのふもとで標高3000m、雪が降り、砂も土もない。岩を砕いて砂にし、みんな

は輝いている。日本でも、親が一生懸命ボランティアなどに関われば、その背中を見て、子どもたちにも何か伝わるのではないかと。本人の行動が周りの人も変え、地域を変えていく力になる。新聞は今後も、そんな活動の力になりたい。

村松 私も被災地を訪ねた時、人間の無力さを感じるとともに、人間は自然とともに生きていかなければならないと強く感じた。人々の頑張りが、その地域の

東日本大震災が発生した時、われわれは一人の人間として、また、遊技業の業界として、一刻も早く何かをしなければという思いで

鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

魅力をつくっている。鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

東日本大震災が発生した時、われわれは一人の人間として、また、遊技業の業界として、一刻も早く何かをしなければという思いで

鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

魅力をつくっている。鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

東日本大震災が発生した時、われわれは一人の人間として、また、遊技業の業界として、一刻も早く何かをしなければという思いで

鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

魅力をつくっている。鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

大西 普通に生きることで、どんなに幸せなことが痛感している。震災と大きな災害を通して、古里を守る気持ちに気付いたことには、皮肉な点もあるが、社会貢献に対する人々の気持ちは確実に変化している。今日のフォーラムを参考に、より住みよい青森県をつくっていききたい。

魅力をつくっている。鳥越 困っている人を支援する上で大切なのは、その人が「何に困っているのか」をしっかりと判断し、どうすればいいか考えること。青森県には、相手の心をきちんと受け止められる人が多い。これは大きな財産だと思ふ。

全日本社会貢献団体機構は 未来に向けて平和で住みよい 社会づくりをめざしています。

私たちは、社会に役立ち必要とされる研究や事業、活動をサポート・応援しています。

助成事業

今日の社会に最も必要とされる研究や活動に対する助成事業は、当機構の根幹事業です。毎年、子どもの健全育成、命を大切にする研究や活動、学術・文化の振興に関する活動に対し、助成を行っています。

◆平成23年度助成事業(実績の一例)

「東京おもちゃ美術館 日本の木の文化でつくる「赤ちゃん」木育「ひろば」開設プロジェクト」事業
一認定NPO法人日本グッド・トイ委員会

「[いのちの大切さ]を伝える講座・講演の実践及び啓蒙・普及活動」事業
一は〜とふるすべ〜す はくくみー

「障がい者アートの商品開発による障がい者の生きがい・就労等の促進」事業
一財団法人日本チャリティ協会

顕彰事業

会員の社会貢献活動を顕彰し、今後一層の活動を期待して、年間で最も優れた社会貢献活動に「社会貢献大賞」を授与することとし、平成17年から実施しております。

第5回 社会貢献大賞
「夢まるひまわり」を中心とした総合的社会貢献」事業
千葉遊技業協同組合

第6回 社会貢献大賞
「ユニバーサル社会実現に向けた社会貢献」事業
兵庫県遊技業協同組合

第7回 社会貢献大賞
「石巻地区ボランティア隊派遣」事業
東京都遊技業協同組合

全日本社会貢献団体機構は、全国のパチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)を母体として2005年12月に設立された任意団体で、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加し、平和で住みよい社会づくりに貢献する事業への助成や社会貢献活動の顕彰を主な活動としています。

AJOSC

全日本社会貢献団体機構 TEL.03-5227-1047 http://www.ajosc.org